

図書館員のおすすめ本

小学生

低学年（1・2年生向け）



『からだたんけんれっしゃ』

濱田 真理：文

大橋 慶子：絵

／交通新聞社

【内容紹介】

ごはんやたまごやきなど、お口に入った食べ物はどこへ行くのでしょうか？不思議な列車に乗って体の中を冒険しよう！「口の中駅」を出発すると「食道トンネル」を急降下。長～い「小腸線」の次は細菌同士の戦いをしている「大腸本線」へ。スリルあふれる列車旅ですが、最後に到着するのは何駅かな？

【図書館員からのコメント】

食べ物は体を動かす力になりますが、体を作るための大切な源だと改めて分かりました。小児科医監修のもと制作された体の仕組みや食事の大切さを楽しく学べる絵本。

中学年（3・4年生向け）



『ようこそ！』

虫のぬけがら博覧会

森上信夫：写真・文／少年写真新聞社

【内容紹介】

トンボにセミ、タガメやイモムシ、バッタにチョウ、カマキリ、テントウムシ、まだまだあるよ。虫のぬけがらの形を整えると、からだの特徴がよくわかり、ポーズが決まった、すてきなぬけがらコレクションができるんだ！

【図書館員からのコメント】

ぬけがらが密集している写真など、とても見ごたえのある写真がたくさん。自分の周りのどこにぬけがらがあるか、探してみたくになりますよ。

高学年（5・6年生向け）



『イラストでわかる漢字使い分けじてん』

卯月 啓子：監修／成美堂出版

【内容紹介】

「会う」と「合う」、「修得」と「習得」など、大人でも漢字の使い分けに迷うことがあります。この本では、おぼえておきたい「異字同訓」「同音異義語」を楽しいイラストで紹介。イラストを見るだけで意味のちがいがわかり、使い分けができるようになります。さあ、今日からあなたも漢字の使い分け上級者になってください。

【図書館職員からのコメント】

日本語には同じ読み方で異なる漢字の言葉がたくさんあり、私もよく迷ってしまいます。この本では、漢字の使い分けが、カラーのイラストで楽しく覚えられます。大人の方と一緒に読んでみるのもいいかもしれません。

中学生

『夜空をおもいっきり』

楽しむ図鑑』

野田 祥代・富田 晃彦：監修
／ナツメ社



【内容紹介】

最近、夜空を見上げていますか？

金星などの惑星、シリウスなどの一等星は町中でも観察することができます。本書では、思わず夜空を見上げたくなるお話をたくさん紹介。さらに、一度は自分の目で実際に見てみたい流星群や月食、火球などの天体ショーのしくみと楽しみ方、星空観察のコツなども詳しく紹介。子どもから大人まで「へえ～」となる情報が満載です。

【図書館員からのコメント】

星空や宇宙についての情報が豊富で、美しい写真もたくさん掲載されています。夜空を眺めるのが楽しくなる一冊です。



『4コマ 仙台弁こけし 仙台宮城方言まるわかりBOOK』

jugo：著／小学館

【内容紹介】

仙台弁こけしの愉快的春夏秋冬4コマ漫画仙台宮城のご当地キャラクター仙台弁こけしが4コマ漫画になりました。仙台弁こけしは、その名の通り「いぎなし」（とても）なまっている仙台弁を話すこけし。本書では春編・夏編・秋編・冬編・番外編と、4コマ漫画を104本収録。4コマ漫画にはご当地あるあるコラムがつき読み応え抜群。可愛いこけしちゃんたちと、仙台宮城の春夏秋冬を巡りながら、仙台弁の世界を味わい尽くしてください。

監修は東北大学教授で方言研究の第一人者小林隆氏。

【図書館員からのコメント】

日常の中で何気なく使っている仙台弁。意味や由来など、楽しく読み進めていくことができました。あたたかい仙台弁に触れてみませんか。

『なんとかなる本』

樹木図書館のコトバ使い1』

令丈 ヒロ子：著 浮雲 宇一：絵
／講談社



【内容紹介】

なんとかして！というピンチの場面に現れた「なんとかなる本」。助けを求めて本を開くといつの間にか、大きな木のある図書館に。そこに現れた「コトバ使い」と名乗る女の子。主人公たちは魔法をかけられるが…、無事にピンチから脱出できるのか！？

【図書館職員からのコメント】

なんとかして！という時に、頼れる場所があったら心強いですよね。私は「コトバの術」はかけられませんが、様々なことを発見できる図書館にいます。『図書貸出・返却・その他ご相談承ります』⇒「ピンチを救ってくれる本」を一緒に探しましょう。